

学生・保護者・教職員・学校関係者 各位

8月下旬をピークとした新型コロナウイルス感染症の第5波は、若い世代を含めたワクチン接種率の増加と、人々の感染予防対策への取り組みにより急速に減少し、10月からは皆さんの貴重な学習の機会である病院や施設での臨地実習もようやく再開となりました。

しかし、群馬県では11月下旬から工場・福祉施設・学校でのクラスターが発生し、都道府県別に見た直近1週間の人口10万人当たりの感染者数は、沖縄県に次いで高い状態です。

また、全国的にみても12月に入ってから新規感染者は増加傾向にあるとともに、感染力がデルタ株以上に強く、感染拡大のスピードが極めて速いとされるオミクロン株による市中感染が相次いで確認されています。

感染が最も広がりやすい時期とされる年末年始、私たちは「第6波」への強い警戒感をもって、一人一人が**感染予防行動を徹底**していくことが重要です。

新型コロナウイルスの3つの感染経路を意識した対策を徹底しましょう。

①ウイルスが付着した手で目や鼻の粘膜に触れることによる「**接触感染**」

* 手洗い、手指の消毒

②会話などで出る飛沫を浴びることによる「**飛沫感染**」

* マスクの着用：飛沫を飛ばさない・飛沫を浴びないために、不織布マスクを正しく装着

* お互いがマスクを着けて、近距離で会話する時間をなるべく作らない

* 同居家族以外の人との会食を避ける

③換気の悪い屋内で広がる「**エアゾル感染**」

* 換気の徹底

年末年始の時期を迎え、皆さんも、親戚や友人等、大切な人との接触の機会が増えることと思います。どうぞこの機会に、皆さんの大切な人に「基本的な感染予防対策」を解りやすく伝えてください。これからの時期をどのように過ごすかが、今後の感染拡大状況に繋がって行きます。「**感染しない、濃厚接触者とならない**」ための、**感染予防行動を徹底**してください。

2021年12月28日

渋川看護専門学校 学校長 井口千春